

平成29年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業

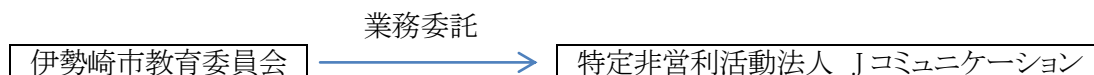
(Ⅱ 定住外国人の子供の就学促進事業)

事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【 伊勢崎市 】

平成29年度に実施した取組の内容及び成果と課題

1. 事業の実施体制



特定非営利活動法人 Jコミュニケーション

概 要 在日している外国人及びその家族に対して、日本語教育を行い、日本での生活をよりよいものとなるよう手助けをし、日本人と外国人の双方がより豊かで共生できる地域社会の実現に寄与することを目的として活動している。

2. 具体の取組内容

①不就学等の外国人の子供に係る学校等との連絡調整

NPO法人Jコミュニケーションに委託し、子ども日本語教室未来塾(以下、「未来塾」という)に通う外国人の児童生徒に対する日本語支援の内容について、学校関係者と情報共有を図るための支援報告書を作成し、教育委員会経由で当該児童生徒が在籍する学校の担当教諭等へ送付した。

本報告書は、担当教諭等がコメントを記入し、教育委員会経由で未来塾に返送されることから、未来塾の支援者にも学校での様子が伝達されてきた。こうした取組を通して、学校と学校外での支援内容や学習状況が相互に理解できる環境の整備に努めてきたところである。

②学校外における、不就学等の外国人の子供に対する日本語、教科若しくは母語指導又は学習習慣の確保に係る指導のための教室の開設

NPO法人Jコミュニケーションに委託し、小中学校に在籍している外国人の児童生徒で、本人と保護者が希望する者、または、学校が特に支援が必要と考え未来塾への参加を勧めた者を対象に、学校と連携した支援を行い、日本語力と学力の向上を目指した。初期指導では、初期の日本語指導から日常生活・学校生活への適応を促し、二次的指導では、日本語と教科を統合した指導から学校での授業へ対応できるようにするとともに、学力向上を促した。

●未来塾小学生クラス

参加人数 延べ 628 人
 日 時 土曜日 2 時間（午前 9 時 30 分～11 時 30 分）
 実施回数 41 回
 会 場 本町教室、曲輪町教室、緋の郷教室
 支援者数 延べ 612 人

●未来塾中学生クラス

参加人数 延べ 317 人
 日 時 土曜日 2 時間（午後 1 時 30 分～3 時 30 分）
 実施回数 41 回
 会 場 本町教室、緋の郷教室
 支援者数 延べ 208 人

3. 成果と課題

教育委員会、学校及び委託先の3者が情報共有できる環境の整備を図り、児童生徒の様子を相互にフィードバックする取組は、きめ細かい指導につながるものであり、学校内外における児童生徒の学習意欲の向上に繋がっているものと考察する。従前は、学校外での学習支援の様子について把握することが困難であったが、委託事業により支援の内容を教育委員会、学校及び委託先の3者で共有できる点において、大きな成果となっている。各学校の指導と未来塾での指導を、即時的かつ適時的な指導とするために、情報交換や情報共有の在り方をさらに模索していくことが必要と思われる。

通学している児童生徒によって日本語の習熟段階は様々であるが、特に支援が必要な児童生徒に対しては1対1で支援に当たり、それぞれの状況に合わせた形での指導を行うことで、日本語力の向上に努めた。参加希望の児童生徒が増えてきている一方、一人一人の日本語習熟度と学力が非常に多様であり、支援者数に余裕がなく支援の質が低下する懸念があることから、これ以上の受け入れが困難な状況にある。

4. その他(今後の取組等)

本市教育研究所・日本語指導研究班が作成した『日本語ステップ』等を用いながら、『初期適応期(日本語の生活環境に慣れる)』『基礎期(日常会話から学習言語、学齢期までの学習内容の習得等)』『充実期(学校への適応が順調であり、一層の日本語の充実を目指している)』『発展期(進学等に向けたより充実した指導を望んでいる)』等のそれぞれの期において、日本語教室で必要とされる統一的なスキルを持った支援者育成と安定した支援体制を構築していくことが必要と考えられる。

また、未来塾への参加について、これ以上の受け入れが困難な状況にあることから、支援形態や支援者の待遇を見直し、活動が継続しやすい環境づくりを模索したい。

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。)